

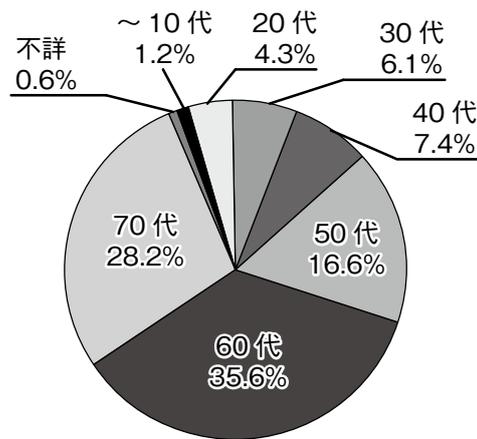
人権講演会 アンケートより



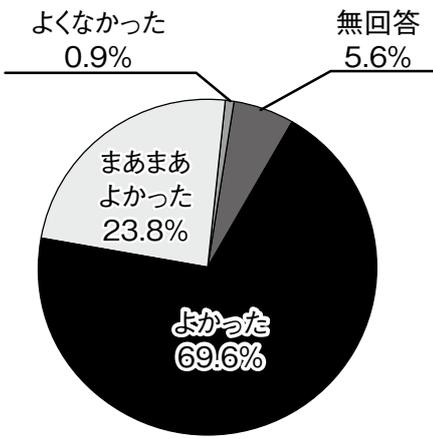
昨年11月11日に開催しました人権講演会（「気象予報士としていま思うこと〜震災・人権・そして未来へ」講師 正木明さん）に参加された方々からご協力いただきましたアンケート結果の一部をご紹介します。



●参加者年代



●今回の講演はいかがでしたか



■人権講演会に出席して

正木さんのお話は楽しくて聞き入っている間に終わりになったという感じだった。人物はひと言でいうと、さわやかでテレビで見た通りのいい人だった。

その内容は、しっかりと筋の通った事を、気負うこともなくやさしく強く伝えてくれた。

人権とは幸せに生きる権利。みんな幸せになりたくて生きている。その幸せに生きるヒントをもらった。心に残ったことは、

防災面

①防災の基本は、「自分の身は自分で守る」、「地域は地域のみんなで守る」、大規模な災害が発生した場合、その災害が大きければ大きいほど公的な救助（行政・消防・警察・自衛隊等）が及ぶまでの時間がかかる。

②災害用伝言ダイヤルは171（いない）と覚える。

③災害ユートピア（みんなそれぞれをいったり、やさしく、お互いを助け合う。自分たちの力で何とかしようとする）は、ある程度復旧が進んで元に戻るころ、大災害後に生まれた連帯コミュニティが崩れていくという。精神的に持続

していい生活を送ることが大事。

■家庭面

正木家の3つのルール

- ①お互いを一人の個性として尊重する。
- ②家事は「手伝う」のではなく「一緒に補う」
- ③子育ては次世代の親を作っているという考えで子育てに取り組む。

を具体的に紹介してくれた。

家庭で一番大切なことは、それぞれの「人生」というものをお互いが尊重することだと言われ、それらを実践されており説得力があった。子どもにとってお手本になるのは身近にいる親であると。

そして最後に

「私にもこれから人生がある。パートナーにも人生がある。私の人生がある。」と言われたことが当たり前だけれどうれしかった。新しい生き方とは思わない。そうあるべきだ。もっと幸せになろうと明るい気分になった。いい時間を持つことが出来て良かった。出来ることからはじめよう！

正木さんの51歳に見えない若さと希望ある笑顔が心に残った。

■人権に関するお問い合わせ

金屋庁舎 社会教育課
TEL 52-2111
FAX 32-4827